



10月29日(木)の日は、子どもたちが楽しみにしているハロウインの日です。決して派手さを競うものではありませんが、子どもたちの夢が叶えられるとうれしいですね。

お家から仮装で登園してください。スタッフ達もハロウインで待っております。この日の幼稚園の雰囲気はガラリと変わって、良い思い出になるでしょう。

■^{あるきコース}徒歩通園お迎えのお母さま方へお願いをいたします。

14時45分がお迎えの時間ですね。

※定時時間まで来ていない場合は園庭の芝生に座って待っております。

寒くなって来て、芝生では可愛想です。玄関の中は、次のバスのおどだちいっぱいです。

時間を守って頂くか、遅れる際は教室で待ちます。

その際は、前とってご連絡ください。

■小さな努力の積み重ね!! という事はすごいことなんです!

年長児たちの「さか立5名人」が80名の大台を越えました。

このペースは、初めての事です。

これは、3年前のつぼみの時、2年前の年少の時、1年前の年中の時の汗の結晶なのです。

その時その時のスタッフ達の言葉かけに励まされ、その言葉に更にやる気を出して努力を積み重ねて来た子どもたちにも頭が下がります。本人の努力の結果です!



「れんげいして来たからできたよ! これからもがんばるね!」と褒めてあげましょう。出来ない子なんておりません! 個人差はあるもののこれからです。これからの子どもたちの喜びに向けて私たちスタッフ 全力で取り組みます。待っててください!

(心の育ちシリーズ) 働く意味! すばらしさ!!

その女性は就職するどころがずいぶん転職のくり返しをした。理由は「自分に合わない」「上司が嫌い」と言うものだった。現在はスーパーのレジ係をしている。

ある日、田舎の母から「どう帰っておいで!」との電話で部屋の整理をしている時、子どもの頃の日記を見つけた。「わたしはピアニストになりたい!」とあった。飽きっぽい彼女が唯一続いたのが「ピアノ」だった。

当時のレジは現在とは違い手で打ち込むタイプだった。「私はピアノをやっていたから早くキーも打てるかと知らない!」と考え練習すると数日後に凄スピードで打ちはじめた。そうすると今見えなかったものが見えてくるようになり、「この人は良く高いものを買う人」とか「この人は開店間際に来る人」などお客さんを観察できるようになって来た。

ある日、良く来るおばあちゃんが5,000円する尾頭付きの魚網がカゴの中に。「きょうは何が良いとでせ?」と聞くと「孫が水泳で賞をとったので!」「おめでとう!」。この会話をきっかけに良くお客さんと会話するようになり、仕事が楽しくなってきた。

ある日のこと、店内放送が「混み合ってます。空いているレジにお回りください!」と。彼女は気付いた。五つあるレジの内、自分のレジだけが長い列に並んでいる。

店長が他のレジへ行こう長い列のお客さんに促すと「私は買いものだけに来てるんじゃないのよ! あの若い子と話したいからさ!!」との返事。

レジ打ちを極めた彼女は多くのファンを獲得し、気がつけば彼女にしか出来ない仕事をしていたのである。

“自分に合った仕事はない”から「仕事に自分を合わせるすばらしさ」を見つけた。